

「アルコール関連問題懇談会市民大会」事業について

アルコール依存症はまだ世間に知られていない病気です。しかし、依存症を疑われながら内科病院に入退院を繰り返し、専門治療に結びつかない人がいます。そのような人に病気について知ってもらい相談機関や専門治療機関につながるように、下記のとおり事業を実施しますのでお知らせします。

記

1 趣 旨

お酒は日本文化の中で交友を深めたりする宴の席に用いられます。また、適量であれば、一般的にも「お酒は百薬の長」といわれています。しかし、一方では「DV（ドメスティックバイオレンス）男性の3割が『飲酒時』に暴力を振るっていた」などといった研究結果が新聞に掲載され、アルコール関連問題も深刻さをましています。最近ではアルコール依存症者は全国で82万人いるという研究結果がでていますが、そのうちアルコール依存症の専門治療を受けているのは2万人といわれており、約80万人は内科病院で治療を受けていると考えられます。

そのような方に、早期発見早期治療に向けてアルコール依存症の専門治療を推進していくうえで、市民、企業及び医療機関などの関係機関の理解と協力は不可欠になります。この市民大会を機に市民のアルコール依存症への関心を高めるとともに、アルコール依存症に対する知識を深め、奈良市のアルコール関連問題懇談会のネットワークを拡大していく機運を高めていきたいと考え事業を実施します。

- 2 主 催 奈良市アルコール関連問題懇談会
(植松クリニック、奈良市断酒会、奈良市保健所)
代 表：植松クリニック
事務局：奈良市保健所 保健予防課

- 3 テーマ 『お酒で困っていませんか？ ～お酒の飲みすぎで、何回も病院に入院している方へ～』

4 事 業

(1) 日時 平成16年10月3日(日) 午後1時30分～午後4時30分

(2) 場所 奈良市生涯学習センター 3階 学習室1・2・3

(3) 講演(講演順) = 申し込み不要

「アルコール関連問題のひろがり」

奈良市保健所 精神保健福祉相談員：犬塚 真由美

「内科医からのアルコール問題」

小杉記念病院 内科医師：木塚 秀人

「お酒をやめた体験談」

奈良市断酒会員

「お酒と病気」

植松クリニック 院長：植松 直道

(4) お酒で困っていることの相談コーナー

今年から講演と並行して奈良市断酒会と保健所の相談員がお酒で困っていることの相談を受けます。事前に奈良市保健所保健予防課まで電話かFAXでお申し込みください。当日も受け付けます。

以上

奈良市保健所 保健予防課
電話 0742-23-6173
FAX 0742-22-2869